

患者様へ：「てんかん」をあきらめてはいませんか？

～ 普通の人生をおくれるように、それが治療のゴールです ～

(お医者様へ：てんかん診療は急速に進歩しています。どんなことでもお気軽にご相談下さい)

1) 本当に、てんかんですか？

- ✓ けいれん発作は、てんかん以外の病気でも起こります。
- ✓ 診断が悩ましい場合、治療せずに様子を見ろという選択もありえます。
- ✓ 薬の開始や中止は、専門医とよくご相談ください。自己判断は禁物です。
- ✓ 時間をかけて、発作の様子や悩み事を聞いてもらえるのが理想です。

2) 小さな発作を見のがしていませんか？

- ✓ けいれん以外のてんかん発作も、少なくありません。
- ✓ 音・光・しびれ・恐怖感などが突然にでてくる発作もあります。
- ✓ ボーッと動きをとめる、無意識に行動する、などの発作もあります。
- ✓ 体をピクンとする、物を落とす、転ぶ、といった発作もあります。
- ✓ 小さな発作でも、てんかんならば何度も繰り返すのが特徴です。

3) 薬による治療で大切なこと。

- ✓ てんかんの薬の選び方は、発作や病気の種類によって大きくちがいます。
- ✓ てんかんの薬の種類は、なるべく少ない組み合わせが理想的です。
- ✓ 薬の種類や量を変えるだけで、てんかん発作が消えることは珍しくありません。
- ✓ 安全でよく効く、新しい抗てんかん薬が、次々と登場しています。

4) てんかんには、手術でなおるものがあります。

- ✓ 薬で消えないてんかん発作でも、手術でなおる場合があります。
- ✓ 薬で1～2年たっても発作が完全に消えない時は、手術も考えてみましょう。
- ✓ 4～5年前に手術をあきらめた場合でも、新しい治療法が使えるかもしれません。

5) ふだんの生活で気をつけること。

- ✓ 睡眠不足とアルコールは、てんかん発作の引き金になります。
- ✓ 注意事項を守れば、妊娠・出産・授乳が可能な場合もたくさんあります。
- ✓ 車の運転は厳禁ですが、発作が2年無いなど、許可される条件もあります。
- ✓ お風呂で溺れたり大きな転落事故は、発作が少ない人ほど油断しやすく危険です。

6) まんぜんと通院を続けてはいませんか？

- ✓ 発作以外の悩みはありませんか？ 専門医であれば相談にのってくれるはずです。
- ✓ 脳波や血液検査は、初診時だけでなく、定期的に行なってもらいましょう。
- ✓ 外来診療費の自己負担を1割に減らせる制度があります。詳しくは受付へ。

----- 東北大学病院てんかん科 -----

診察には紹介状と事前予約が必要です。かかりつけの医師に相談し、東北大学病院地域医療連携センター（電話 022-717-7131, FAX-7132）を通じて予約をお願いします。

詳しくはホームページから (<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/tikiiryuu/tikiiryuu.html>)